

令和7年度 次世代創出PBL推進事業
実施報告書【学校課題実践校用】

学校番号	7
学校名	富山県立上市高等学校

学校の現状と課題	<p>【現状】本校は、全日制総合学科で2年次から6分野(人文、自然、グリーン、スポーツ、福祉健康、情報ビジネス)に分かれ、専門的に学ぶ機会を提供し、約8割の生徒が県内で進学や就職する創立100年を超える高校である。近年は、上市町や地元の企業からなる「ハッピー上市会」と連携し、地元企業等について知る「職業を知る会」や生徒が企業で実際に働いて賃金を得る「キャリアバイト」を県立高校で初めて実施している。</p> <p>【課題】将来の進路が明確でなく、地元企業について理解がない生徒や地域イベントに参加したことのない生徒に地域や地元企業の魅力を知り、課題解決に取り組む機会を提供する。それにより、生徒が地域社会で暮らす将来像が明確になり、自信を持って進学や就職できるようにし、地域を担う人材を育成することが本校の課題である。</p>	
テーマ(特色)	総合学科の特色を生かした地域連携教育とキャリア教育の推進	
設定した「テーマ」の達成状況	<p>・地域連携教育の推進 地域イベントへの参加や地域の方との協働的な活動を通して、生徒は地域の文化や地域課題に取り組む人々の思いに直接触れ、地域の課題や魅力について理解を深めた。地域と連携した学習活動を重ねることで、生徒が地域社会の一員として関わる意識を高めるとともに、卒業後、地域社会で暮らす将来像を明確にする契機となった。</p> <p>・キャリア教育の推進 職場・施設見学や地域イベントへの参加、介護体験、起業学習等を通して、生徒は地域で働く人々と直接関わることで、多様な職業や働き方、働くことの意義について理解を深めた。これらの取組は、生徒が将来のキャリア形成を考える契機となり、キャリア教育の推進に資するものとなった。</p>	
実施内容 (具体的に記入する)	<p>①地域の展覧会に参加し、作品を披露した。 ②施設訪問:いきがいデイサービス「おたっしや家」で介護体験、花壇づくり等をおこなった。 ③地域交流定期演奏会:地域楽団(北アルプス吹奏楽団)から指導を受け、共に演奏し、1月の定期演奏会を成功させた。 ④小学生ふれあい交流:8月末に小学生と共ににんじんとサイネリアの植え、12月にはにんじんの収穫とサイネリアの鉢替えを行った。3月にはその花鉢を小学校の卒業式用にと贈呈式を行い計3回の交流活動ができた。 ⑤郷土文化:地元上市町の「大岩山日石寺」、「弓の里歴史文化館」など特徴的な施設等を訪問し、「地方文化」の価値について学んだ。また、事前事後の学習を計画的に行うことにより理解を深めた。 ⑥上市町内企業職場見学:1年生が町内の企業見学に参加し、地元の企業を知るとともに、職業を知ること、自ら将来を考える機会とした。 ⑦環境整備:上市駅の清掃と町駐輪場の清掃を行い、社会貢献の精神と利用マナーについて考える機会とした。 ⑧農業体験講座:講師に報徳会の方を迎え、俵編みや縄繻い体験を通し、日本の伝統工芸であるわら細工についての知識を深め、先人の知恵や苦勞について考える機会とした。 ⑨郷土料理:地元の講師を招き実施した。今回は主に防災時の料理方法を学び実践した。 ⑩上市駅装飾:卒業・入学シーズンにあわせ上市駅構内にサイネリアの花を設置した。駅からも設置要請があるなど、活動が定着している。 ⑪特産物化へ協力:農業分野の研究課題として薬草であるミシマサイコの栽培に上市町にある富山県薬用植物指導センターから指導を受けながら、特産化のための協力・技術開発に向けて取り組んだ。収穫し新聞にも取り上げられるなどますます期待や関心が高まっている。次年度はさらに事業内容を拡大していきたい。 ⑫1年次の「産業社会と人間」では、上市町と協議の上、サツマイモのつるを活用して制作したクリスマスリース等により、町営バスや上市駅の装飾を行った。2年次の「総合的な探究の時間」における起業学習では、地域講師等から地域の課題や魅力について学び、公共交通や空き家の活用といった課題に取り組んだ。さらに、「とやまワカモノサミット」において、地元の就労継続支援施設に制作を依頼した商品を富山駅で販売するなど、課題研究につながるプロジェクト型学習を実施した。また、各学年の取組については、動画や画像を活用し、本校公式インスタグラムを通じて、本校の教育活動や特色のPRを兼ねた情報発信を行った。</p>	
取組による成果 (プロジェクト学習推進の観点から)	<p>本取組を通して、生徒は課題設定から調査、検討、発表までの一連の学習過程を経験した。グループによる協働的な学習を通して、意見を伝え合いながら合意形成を図るなど、コミュニケーション能力の向上が見られた。さらに、地域課題に関する調査活動を通して、情報を収集・整理する力が養われた。成果をまとめて発信する活動により、プレゼンテーション能力の育成にもつながった。以上のことから、本取組は、就職・進学にとどまらず、人生100年時代を生きる生徒にとって、これからの時代に求められる能力・資質の育成に資するものとなったと考えられる。今後も、プロジェクト学習の一層の充実を図っていきたい。</p>	
対象者(学年・人数など)	全生徒283名	
実施実績	4月	
	5月	⑫課題研究に関する講演会 ⑫企業参加型課題研究(1) ⑤郷土文化
	6月	⑪特産物化へ協力
	7月	②施設訪問
	8月	①地域展覧会へ参加 ④小学生ふれあい交流活動 ⑪特産物化へ協力
	9月	⑤郷土文化 ⑫起業学習
	10月	⑦環境整備(上市駅の清掃) ⑫起業学習
	11月	⑥上市町内企業職場見学 ⑫起業学習
	12月	④小学生ふれあい交流 ⑫起業学習 ⑫町営バス等装飾
	1月	③地域交流定期演奏会 ⑧農業体験講座 ⑨郷土料理
2月		
3月	④小学生ふれあい交流 ⑩上市駅装飾 ⑪特産物化へ協力 ⑫起業に関する講演会	